

福島第一原子力発電所におけるALPS処理水希釈放出設備の  
運転状況の確認結果について

県では、福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の希釈放出に際し、東京電力が実施計画通りにALPS処理水希釈放出設備の運転を行っているか確認しています。

昨日警報が発生したため、海洋放出を自動停止しましたが、警報があった箇所の交換が完了し、設備に問題がないことを確認できたことから16：10に海洋放出を再開しました。

確認時刻	9:29
海洋放出の状況	放出停止中

1 放出の状況について

本日、各種パラメータの数値を確認した結果、設備等に異常はなく、トリチウム濃度等にも問題はありませんでした。

希釈後 トリチウム濃度*1	0	Bq/L	(放出基準 1,500Bq/L)
放出中タンク	B	群	
希釈倍率	1071	倍	
本日の放出量	0	m <sup>3</sup>	
前日の放出量*2	309	m <sup>3</sup>	(最大放出量 500m <sup>3</sup> /日)
年間放出量(累計)	12060	m <sup>3</sup>	
トリチウム年間 放出量(累計)*3	約2.6	兆Bq	(最大年間放出量 22兆Bq)

\*1 希釈後トリチウム濃度 : 計算値 (ALPS処理水移送流量と希釈海水流量から計算した値) を記載している。

\*2 前日の0時から24時までに放出されたALPS処理水の量を記載している。

\*3 トリチウム年間放出量(累計) : ALPS処理水放出量とALPS処理水に含まれるトリチウム濃度を掛けたものを記載している。

2 測定・確認用設備の状況について

放出、受入中タンク群を除くタンク群水位に変化がない(漏えいしていない)ことを確認した。

タンク種別	水位(平均値) 前日からの変化量	前日の水位(平均値)	備考
A群	11,422 ±0 mm	11,422 mm	-
B群	6,148 -175 mm	6,323 mm	放出中
C群	11,393 ±0 mm	11,393 mm	-

3 移送設備の状況について

処理水移送ポンプが停止していることを確認した。

	A系	B系
処理水移送ポンプ	停止	停止
処理水移送ライン 流量計1	0 m <sup>3</sup> /h	0 m <sup>3</sup> /h
処理水移送ライン 流量計2	0 m <sup>3</sup> /h	0 m <sup>3</sup> /h

4 希釈設備の状況について

一定流量で海水移送ポンプが稼働していることを確認した。

	A系	B系	C系
海水移送ポンプ	運転	運転	停止
海水移送ライン 流量計	7,377 m <sup>3</sup> /h	7,485 m <sup>3</sup> /h	0 m <sup>3</sup> /h